



Copyright © 2025 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. intra-mart Accel Documents 2024 Autumn からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. サードパーティ ライセンス一覧
- 8. 制限事項
- 9. 保証規程
- 10. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2025-04-01	初版
------------	----

はじめに

本書の内容

本書では intra-mart Accel Documentsのリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

intra-mart Accel Documentsの利用

intra-mart Accel Documentsを利用したアプリケーション開発

intra-mart Accel Documents 2024 Autumn からの変更点

追加機能概要

intra-mart Accel Documents 2025 Spring(Kamille) で追加、改善された主な機能です。

- [LogicDesigner](#)にIM-Workflow連携タスクを追加します。
- オブジェクトの階層構造をツリー形式で出力します。

intra-mart Accel Documents 2025 Spring(Kamille) で表示や操作に変更のある要件は以下のとおりです。

- IM-Workflow連携フォルダで削除申請を行う時、操作ユーザが削除権限を有しているか確認します。



コラム

不具合情報を含む全ての要件については、[「intra-mart 要件情報公開サイト」](#)を参照してください。

システム要件

- サーバ要件
 - intra-mart Accel Platform 2025 Spring(Kamille) のサーバ要件に準じて変更しました。
 - データベース
 - 下記で Oracle Database 23ai に対応したため、Oracle Database 23ai についての注記を削除しました。
 - [Oracle Database 23ai](#)に対応します。
- intra-mart Accel Platform
 - intra-mart Accel Platform 「2024 Autumn」→「2025 Spring(Kamille)」に変更しました。
- クライアント要件
 - intra-mart Accel Platform 2025 Spring(Kamille) のクライアント要件に準じて変更しました。

検証済み環境

- サーバ要件

- intra-mart Accel Platform 2025 Spring(Kamille) の検証済み環境に準じて変更しました。

サードパーティライブラリ

- 追加・変更
 - 追加・変更されたサードパーティライブラリはありません。
- 除外
 - 除外されたサードパーティライブラリはありません。

制限事項

【追加された制限事項】

- [言語追加した場合について](#)

【更新された制限事項】

- 更新された制限事項はありません

【削除された制限事項】

- 削除された制限事項はありません

機能一覧

大分 類	小分類	機能概要
基本	intra-mart Accel Documents管理	キャビネットを作成したり、キャビネットの設定を変更したりできます。
	キャビネット管理	キャビネットの設定を管理する機能です。
	ごみ箱	削除した文書やフォルダを復元できます。
	タグ分類	文書やフォルダは、タグ付けによる分類ができます。
	検索	属性情報を条件に、文書やフォルダを検索できます。
	コンテンツ管理	文書を登録したり、属性を変更したりできます。
	バージョン管理	文書の更新履歴をバージョンで管理します。
	ロック/アンロック	ほかのユーザが文書を同時に編集できないようにします。
	アクセス権	フォルダや文書などのオブジェクトに対して、アクセス権を設定できます。
	多言語	日本語、英語、または中国語（簡体字）のブラウザで利用できます。
開発	公開API	intra-mart Accel Documents の基本機能のAPIです。
応用	通知	文書の登録や更新を IMBox 、ポータル、またはメールで通知します。
	IM-Workflow 連携	文書を登録、更新、または削除するときに、ワークフローを起案します。 承認された場合のみ、文書の登録、更新、または削除できます。
	IM-ContentsSearch 連携	IM-ContentsSearch の機能により、登録されている文書の内容を検索できます。
	文書公開	期間と公開先のユーザを指定して、文書を公開できます。 また、公開期間の開始に合わせて IMBox 、ポータル、メールで通知できます。
	セキュアダウンロード	ダウンロードをするユーザのアクセス権に応じて、PDFがダウンロードされるように設定できます。
	エクスポート・インポート	intra-mart Accel Documents 内のデータを所定のフォーマットでサーバ内に出力できます。 また、所定のフォーマットで書かれたデータを、 intra-mart Accel Documents にインポートできます。

保管期限	文書の保管期限を指定し、文書を保護できます。 また、保管期限が過ぎる前に IMBox、ポータル、メールで通知できます。
属性CSV出力/取り込み	指定した文書やフォルダの属性をCSVファイルに出力できます。 また、出力したCSVファイルを編集し、取り込むと、フォルダ/文書の属性を一括で更新できます。
コンテンツの一括登録/更新	文書を一括で intra-mart Accel Documents に登録できます。 また、intra-mart Accel Documents に登録されている文書を一括で更新できます。
一括ダウンロード	複数のフォルダ/文書を指定して、一括でダウンロードできます。
タイムスタンプ	文書に対してタイムスタンプ/アーカイブタイムスタンプを付与でき、文書のタイムスタンプを検証できます。 また、タイムスタンプの検証有効期限が過ぎる前に IMBox、ポータル、メールで通知できます。
IM-LogicDesigner 連携	intra-mart Accel Documents の機能を IM-LogicDesigner から利用できます。



注意

Accel Platform Standard Editionを利用する場合、IM-Workflow 連携は対応していません。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2025 Spring(Kamille) (Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition または、カスタマーサクセスライセンス向けの Basic Edition、Advance Edition、Professional Edition)
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。
- セキュアダウンロード機能を使用するために、エクステンションシリーズの IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要です。



警告

Microsoft SQL Serverは、性能・パフォーマンスに関する問い合わせが数多く報告されています。十分な検証とチューニングが必要です。



注意

データベース等のシステム要件に関して、intra-mart Accel Platform では対応していても、アプリケーションでは対応していない場合があります。
必ず、本ドキュメントに記載されているシステム要件をご確認ください。



注意

Web Application Server として WebSphere Application Server 9.0.5 、 Oracle WebLogic Server 12c R2(12.2.1) 、 Payara は利用できません。



注意

クラウドサービスとして Oracle Cloud Infrastructure Compute / Oracle Base Database Service は利用できません。
Amazon Aurora PostgreSQL-Compatible Edition は未検証です。



注意

データベースとして PostgreSQL 12 、 Microsoft SQL Server 2017 は利用できません。



注意

intra-mart Accel Documentsで使用する文字コードは、UTF-8のみです。



コラム

intra-mart Accel Documentsにおける過去のシステム要件に関しては、「[Accel シリーズ システム要件対応表](#)」を参照してください。

特定機能の利用時に必要となるサーバ要件

- IMBoxを利用する場合
 - [Apache Cassandra システム要件](#)
- IM-ContentsSearch for Accel Platform を利用する場合
 - [Apache Solr システム要件](#)

クライアント要件

- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。



警告

各ベンダより提供される、サーバ・クライアント製品のサポート終了に伴う、弊社製品の対応方針について

下記を参照してください。

参考：https://dev.intra-mart.jp/product_policy/（日本語）

Microsoft Windows 10 については、公式がサービスを終了するバージョンはサポート対象外です。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（日本語）

<https://support.microsoft.com/en-us/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（English）



注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。



注意

Android端末は機種やブラウザの種類によって正常に動作しない場合があります。



注意

Androidタブレットはクライアント要件には含まれません。



注意

クライアントブラウザは標準モードのみがサポート対象です。

例として、Microsoft Edge の「Internet Explorer (IE) モード」はサポート対象外です。

検証済み環境

サーバ環境

- intra-mart Accel Platform の検証済みサーバ環境に準じます。

クライアント環境

- intra-mart Accel Platform の検証済みサーバ環境に準じます。

サードパーティ ライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
Big Integer Library	3.0.4	オリジナル	http://www.leemon.com/

制限事項

全般

セットアップ

複数テナントを構築する場合の接続先のデータベースについて

複数テナントを構築する場合、接続先のデータベースは、インスタンス単位で分けて構築する事を推奨します。

Oracle Databaseを使用して複数バーチャルテナントテナントを構築する場合について

Oracle Databaseで複数バーチャルテナント運用の場合はインスタンスを分ける必要があります。

テナント環境セットアップ時にAccel Documents用のスキーマを各テナントが使用しているデータベースのインスタンス上に作成します。

各テナントが使用するデータベースが同一インスタンス上に存在する場合、Accel Documents用のスキーマ名が重複しテナント環境セットアップ時にエラーが発生します。

そのため、各テナントが使用するデータベースはインスタンス単位で分けてください。

共通

ブラウザによるレイアウトの違いについて

Microsoft EdgeとChromeなど、ブラウザの違いにより、表示されるレイアウトが異なる場合があります。

入力項目のチェックについて

画面によって、フォームに入力した内容に対する入力チェックが、リアルタイムに行われない場合があります。

処理中にネットワーク切断が発生した場合の表示について

ネットワーク障害などによって、エラーインフォメーションメッセージが表示されることがあります。

エクスポートしたCSVファイルをExcelで開いた場合の文字化けについて

エクスポートしたCSVファイルの文字コードはUTF-8です。このため、Excelで開いたときに文字化けして表示されることがあります。

下記のどちらかの方法でファイルを開くことで、Excelでの文字化けを回避できます。

- [開く] メニューからCSVファイルを開く
- [外部データ取り込み] からCSVファイルをインポートする

どちらの場合も、文字コードの指定ではUTF-8を選択してください。
詳細な手順については、Excelのマニュアルを参照してください。

通知内容のロケールについて

機能によって、通知内容のロケールが異なります。

- モニタ設定による通知
 - メール、IMBox
「モニタ設定時の操作ユーザのロケール」で通知されます。
 - ポータル
「ポータル表示時の操作ユーザのロケール」で表示されます。
- 通知先指定、および文書公開による通知
 - メール、IMBox
「操作ユーザのロケール」で通知されます。
 - ポータル
「ポータル表示時の操作ユーザのロケール」で表示されます。

通知方法にメールが指定されていた場合、通知先ユーザに対象ロケールのメールアドレスが設定されていないとメールが通知されません。
通知される可能性のあるロケール設定でメールアドレスが登録されていることをテナント管理者に確認してください。

コピー時のタグの扱いについて

共有タグ、個人タグはコピーの対象外です。

フォルダのツリー表示（サイドナビゲーション）について

フォルダ直下に1,000件以上のフォルダが存在する場合、サイドナビゲーションにはフォルダの名前の昇順でソートした上位1,000件が表示されます。

1 階層のフォルダ/文書数について

1階層のフォルダ/文書数が1,000件を超えると、使い勝手や性能に影響があります。多くなりすぎないように運用してください。

文書公開におけるCCのメールアドレスについて

文書公開の通知で、ログインユーザのメールアドレスが取得できない場合は、メールのCCヘッダにログインユーザのメールアドレスが指定されません。
あらかじめ、ログインユーザの現在のロケールに、メールアドレスを設定しておく必要があります。

検索の対象属性について

UG識別子型の属性は、検索対象外です。

全文検索インデックス更新のタイミングについて

文書の追加、削除、属性変更およびアクセス権変更が全文検索のインデックスに反映されるのは処理が行われた後、クローラが動作したタイミングです。

IM-共通マスタの組織変更に伴う全文検索インデックス再作成について

全文検索のインデックス登録後に、組織やパブリックグループの構造が変更された場合は、インデックス再作成用のクローラを使用して、再度インデックスを登録する必要があります。

ダウンロードしたファイル名がintra-mart Accel Documents上の文書名と異なる現象について

ダウンロードの方法や環境によって、ダウンロードしたファイル名がintra-mart Accel Documents上の文書名と異なることがあります。

既知のものは以下です。

- 文書名のリンクから文書を開いた場合
- 文書名のリンクから開いた文書を保存した場合

ドロワのセキュアダウンロード設定について

ドロワの「セキュアダウンロード設定」は、常に「有効」として動作します。

文書をセキュアダウンロード対象外とする場合は、通常の「文書」クラスとして登録してください。

IM-共通マスタから削除されたユーザの表示について

文書の「作成者」や「更新者」に設定されたユーザがIM-共通マスタから削除された場合、ユーザ名の代わりにユーザコードが表示されます。

環境依存文字のチェックについて

入力内容に環境依存文字が含まれているかどうかのチェックは行いません。そのため、環境によっては文字が正しく表示されない場合があります。

セキュアダウンロードのタイムアウトについて

ファイルサイズの大きい文書をセキュア文書として登録すると、セキュアダウンロードでタイムアウト

フォルダのアクセス権の変更について

フォルダのアクセス権を変更するときに「本フォルダ以下のアクセス権をこのアクセス権で統一する」のチェックボックスにチェックマークを入れても、処理中の別のユーザの操作により、フォルダ以下のアクセス権が統一されない場合があります。

ゲストユーザが公開された文書をダウンロードするときの制限事項

テナントがデフォルトテナントでない場合、ゲストユーザは公開された文書をダウンロードできません。
ダウンロードするためには、intra-mart Accel Platform の「テナント自動解決機能」を利用してください。

通知処理中の文書名変更について

大量のユーザへの通知中に文書名を変更した場合、ユーザによって通知される文書名が変わる場合があります。

「スペースのモードが不正です」エラーの発生について

キャビネット管理者が以下の操作を実行中にAccel Documentsの更新処理を実行すると、「スペースのモードが不正です」エラーが発生することがあります。

- クラス定義作成/削除
- クラス定義への使用可能属性の追加/削除
- 属性定義作成/編集/削除

しばらく時間をおいてから、操作を実行してください。

一覧表示設定の表示項目/初期ソート条件に大量のユーザ定義属性を設定する場合について

ドロフ、およびフォルダに設定されている一覧表示設定の表示項目/初期ソート条件の属性数が合わせて50個以上の場合に、文書の一覧表示に時間がかかることがあります。
一覧表示設定の表示項目/初期ソート条件の属性数を減らすことで現象が解消する場合があります。

公開期間中に文書の保管期限が切れた場合の挙動について

公開期間中に文書の保管期限が切れた場合でも、「公開文書一覧表示」、「公開文書ポートレット表示」、および「公開設定一覧表示」にて、公開に関する情報が表示されます。
ただし、公開された文書にアクセスすると、その文書の保管設定に従って制御されるため、ダウンロードや通知処理が実行できない場合があります。

ブラウザ内でOfficeに関連付けられた文書を開く場合に、Windows認証が表示されることがあります。

これは、Officeアプリケーションからサーバ上のドキュメントに直接アクセスする際に、Officeアプリケーションの認証を試行しているためです。

Office文書をブラウザ内で開かない設定にすることで、Windows認証が表示されないようにできます。

設定方法については、「intra-mart Accel Documents セットアップガイド」-「ブラウザ内で開くファイルの種類を限定する場合」を参照してください。

ポートレットの高さを変更した場合の挙動について

intra-mart Accel Documentsが提供しているポートレットの高さをマウス操作によって変更しようとしたときに、ポートレットの高さが変更されないことがあります。

また、マウスの左クリックボタンを離してもドラッグしたままになることがあります。マウスの移動速度を遅くすることで、現象が発生しにくくなります。

検索範囲を指定した場合の詳細検索について

詳細検索において、検索範囲としてドロワやフォルダを指定した場合は、指定したドロワやフォルダから、検索したユーザの権限でたどれるフォルダや文書のみが検索対象です。

指定したドロワやフォルダ以下に大量のフォルダや文書が格納されている場合は、たどれるかどうかのチェックに時間がかかり、レスポンスが遅くなる場合があります。

保管文書の保管期限切れ予告通知について

文書の保管期限が近付いた際に、その文書の保管責任者に通知できますが、大量の文書に同日の期限切れ予告通知をする設定がされている場合に、大量の通知処理が発生しますので、注意してください。

サムネイル画像の生成について

DocuWorks、PDF、TIFF、およびJPEGのファイルを登録する際に、サムネイル表示用の画像を生成します。ファイルの内容によっては、サムネイル画像の生成に時間がかかるため、文書登録が完了するまでに時間がかかることがあります。

ストレージタブのサイドナビゲーションの「+」ボタン（すべて開く）について

ストレージタブのサイドナビゲーションの「+」ボタン（すべて開く）をクリックすると、キャビネット内のドロワと全階層のフォルダのツリーを展開して表示します。

そのため、キャビネット内にフォルダが大量に登録されている場合は、表示に時間がかかる場合があります。

文書の新規登録（アップロード）または更新（チェックイン）の実行時に、通知先と通知方法を指定して通知できますが、キャビネット利用者でないユーザや文書のアクセス権がないユーザが通知先に指定された場合についても、指定された通知方法にて通知されますので注意してください。

フォルダの移動や削除などの一括処理について

フォルダのコピー、移動、削除などの一括処理においては、フォルダ以下のフォルダや文書も処理対象です。

そのため、選択したフォルダ配下に大量のフォルダや文書が含まれる場合は、処理に時間がかかることがあります。

特にドロワを跨る移動処理の場合は時間がかかりますので、注意してください。

また、移動、削除、アクセス権、一覧表示設定変更などの階層構造全体に対する処理については、整合性を保つために、これらの処理に関連するすべてのフォルダや文書の情報がロックされますので、他の操作で待ちが発生しやすくなります。

複数文書の一括登録について

複数の文書を一括で登録する場合は、文書数および文書サイズに応じて処理に時間がかかります。

大量の文書やフォルダのアクセス権を変更する場合について

フォルダのアクセス権変更時に「本フォルダ以下のアクセス権をこのアクセス権で統一する」にチェックした場合、フォルダ以下のフォルダや文書もアクセス権が変更されますが、フォルダ以下に大量のフォルダや文書が含まれる場合に、処理に時間がかかることがあります。

特に、データベースにOracleを利用している場合は時間がかかりますので、注意してください。

クラスの使用可能属性を変更する場合について

クラスの使用可能属性を変更する処理中は、整合性を保つために、intra-mart AccelDocumentsへのアクセスが一切できなくなります。

使用中のクラスの使用可能属性を変更する場合は、そのクラスの使用数に応じて、処理に時間がかかるため、特に注意してください。

通知タブの表示について

モニタ設定の設定数が多い場合、通知タブの表示に時間がかかることがあります。

エクスポート対象に制御文字が含まれている場合について

キャビネット内のデータに特定の制御文字が含まれている場合、エクスポート実行時に除去します。特定の制御文字は、UnicodeのC0制御文字(0x00-0x1F)、削除文字(0x7F)、および、C1制御文字(0x80-0x9F)です。

キャビネット管理のキャビネット属性の文書公開機能が「管理者のみ有効」に設定されている場合、キャビネット管理者、文書をチェックアウトしたユーザであっても、チェックアウト中の文書を文書公開できません。チェックアウト取り消しを実施してから、文書公開を行ってください。

1文書に保持可能なバージョン数およびバージョン番号の表示について

1文書に保持可能なバージョン数は、32767です。

(※1文書に保持可能なバージョン数は32767ですが、途中のバージョンを削除した場合に、そのバージョン番号は欠番となるため、バージョン番号は32767より大きくなる場合があります。)

intra-mart Accel Documents のUIで表示するバージョン番号の最大値については、intra-mart Accel Documents のバージョンにより異なります。

また、intra-mart Accel Documents のUIを使用する場合は、表示可能なバージョン番号までしかバージョン追加ができません。

- intra-mart Accel Documents 8.0.2 以前
バージョン番号は2147483647まで表示可能です。
- intra-mart Accel Documents 8.0.3～8.0.8
製品の不具合により、バージョン番号は999までしか表示できません。
バージョンの形式を複数の桁（例 1.0.0、1.0.1）に設定している場合は、各桁につき999まで表示が可能です（例 999.999.999）。

※intra-mart Accel Documents 8.0.7-PATCH001、intra-mart Accel Documents 8.0.8-PATCH001適用後

バージョン番号は2147483647まで表示可能です。

但し、バージョン番号999までにバージョン削除を行っていた場合は、バージョン番号1000を登録しようとした場合に、バージョン番号が飛ぶことがあります（例 999→1001）。

また、バージョンの形式を複数の桁（例 1.0.0、1.0.1）に設定している場合は、PATCH適用後も各桁につき999までしか表示できません（例 999.999.999）。

- intra-mart Accel Documents 8.0.9 以降
バージョン番号は99999まで表示可能です。
バージョンの形式を複数の桁（例 1.0.0、1.0.1）に設定している場合は、各桁につき99999まで表示が可能です（例 99999.99999.99999）。

文書公開開始通知と公開中止通知の通知のタイミングについて

文書公開開始通知と公開中止通知は、非同期処理にて通知を実施します。

そのため、公開開始後に即公開中止した場合、前後して通知される場合があります。

同一会社で複数の組織に所属している場合のアクセス権について

カレント組織のアクセス権が無効な場合、同一会社で所属している別の組織のアクセス権が有効です。

以下に具体例を示します。

ユーザが同一会社の以下の2つの組織に所属しているとします。

- 組織A・・・アクセス権あり
- 組織B・・・アクセス権なし

上記の場合、組織Bをカレント組織として操作しても、組織Aのアクセス権により有効です。

言語追加した場合について

言語追加した場合でも、追加したロケール用の入力欄が表示されません。

加えて、キャビネット・ドロワ・フォルダについてロケールによる表示切替を行うことはできません。

また、以下の項目については制約が存在します。

- 属性定義・・・名称、説明
- クラス定義・・・名称、説明
- メニュー表示設定・・・名称、説明
- 一覧表示設定・・・名称、説明
- セキュリティ定義・・・名称
- 保管定義・・・名称

名称の表示時制約	追加した言語のテキストボックスが追加されません。ユーザが追加された言語のロケールで表示した際、標準表示名で指定した名称が表示されます。
----------	---

説明の表示時制約	追加した言語のテキストボックスが追加されません。ユーザが追加された言語のロケールで表示した際、英語に入力した値が説明として表示されます。
----------	--

(例 ドイツ語を追加したのち、ロケールをドイツ語にしたユーザが「属性定義一覧」画面を表示すると、名称は「標準表示名に設定した値」、説明は「英語ロケールで表示されるものと同等の値」が表示されます。)

IM-Workflow連携

申請時の文書について

申請時に指定できる文書は1つだけです。1度の申請で複数の文書を指定できません。

また、ドラッグ&ドロップでのアップロード、チェックインには対応しません。

文書のバージョン削除について

IM-Workflow連携フォルダに格納されている文書のバージョンは、申請を行わずに削除できます。

文書アップロード申請時の文書属性について

IDの長さが20文字以上になる文書の属性は、文書アップロード申請時に指定できません。

必須属性の場合、デフォルト値が設定されます。

削除申請で削除された文書はごみ箱に入らず、そのまま削除されます。

IM-Workflow連携フォルダについて

IM-Workflow連携フォルダに格納された文書をほかのフォルダに移動できません。

連携対象のフローについて

以下のIM-Workflowの機能には対応しません。

- 申請時の動的承認ノードおよび確認ノード、横配置・縦配置ノード、分岐ノードの設定
- 代理申請
- 印影フロー

intra-mart Accel Documents以外から申請する場合の文書属性の指定方法について

intra-mart Accel Documents以外から申請を行い、intra-mart Accel Documentsのユーザプログラムを利用して文書操作で文書属性を指定する場合は、以下の型に注意してください。

- 日時型
エポック（1970年1月1日 00:00:00 UTC）からのミリ秒数で指定してください。
- UG識別子型
ユーザCDで指定してください。

経費精算ワークフロー連携オプション

スキャン台紙画面で設定する文書名の制限事項について

スキャン台紙画面で設定する文書名に日本語が含まれていると、サーバOSが日本語版のWindows以外の場合に、アップロードした文書の名前が正しく設定されないことがあります。

「文書利用案件」を参照できるユーザについて

「文書利用案件」はワークフローの参照権を持つユーザで表示ができます。

ただし、ワークフロー起票時に参照権があるユーザだけが対象です。

ワークフロー起票後に参照権を追加したいユーザは、「参照者再展開」ジョブを実施することで参照権を付与できます。

コンテンツの一括登録/更新

intra-mart Accel Platformに登録されていないサブジェクトを指定した場合について

CSVファイルに、共通マスタには登録されていないユーザや組織のコードを記載した場合でも、処理はエラーにならず、指定した値で文書を登録、更新します。

チェックイン操作でのバージョン番号について

チェックイン操作では、バージョン番号の一番右端の桁を1つ加算します。加算する桁を指定できません。

intra-mart Accel Documents 2013 Springからの変更点に伴う注意事項

クラス定義に設定されるセキュリティ定義について

2013 Autumnリリースから、クラス定義にセキュリティ定義が指定可能になりました。
2013 Springリリースで作成したクラス定義は、空（デフォルト設定を利用）のセキュリティ定義が設定された状態になります。

文書公開の設定について

2013 Autumnリリースから、文書公開の設定が拡張されました。
2013 Springリリースで文書公開（ゲストユーザ向け文書公開）を行っている場合、文書公開は以下の通り設定されています。

項目	設定
公開名	文書名
文書名	文書名（変更なし）
状況	開始日時と終了日時から自動で設定
開始日時	開始日時（変更なし）
終了日時	終了日時（変更なし）
開始通知日時	開始日時
終了通知日時	開始日時

文書公開をしている場合の通知情報について

2013 Autumnリリースから、文書公開をした場合の通知情報が確認できるようになりました。
2013 Springリリースで文書公開（ゲストユーザ向け文書公開）をしている場合、通知情報は以下の通り表示されます。

項目	表示される情報
通知状況	通知完了
通知予定日	開始通知日時、もしくは、終了通知日時
通知完了日	空

項目	表示される情報
成功件数	0
失敗件数	0
未通知件数	0
再通知待ち件数	0

属性定義、およびクラス定義のデフォルトロケールの名前について

2013 Autumnリリースから、属性定義、およびクラス定義にデフォルトロケールの名前が指定可能になりました。

2013 Springリリースで属性定義、およびクラス定義を作成している場合、デフォルトロケールの名前は、日本語ロケールの名前と同じものが設定されます。

PC

文書アップロード時に指定するファイルのパスについて

ブラウザによっては、文書アップロードダイアログのファイルに、パスを含めたファイル名が255byte以上あるファイルを指定できない場合があります。

ショートカットファイル（Windowsのショートカット）のアップロードについて

ショートカットファイル（Windowsのショートカット）を、ドラッグ&ドロップで登録することは推奨していません。

登録した場合は、ショートカットファイルそのものが文書として登録されます。

ショートカットファイルのリンク先の文書を登録する場合には、新規登録メニューから登録してください。

スマートフォン

共通（スマートフォン）

入力項目のヘルプ（ツールチップ）の表示について

iOS端末とAndroid端末では、入力項目のヘルプ（ツールチップ）を表示できません。

セレクトボックスのメニュー表示について

PCのブラウザではグレイアウトされるセレクトボックスのメニューが、iOS端末ではグレイアウトされ

チェックアウト取り消しについて

iOS端末では、チェックアウトせずにチェックアウト取り消しを実行した場合、以下のメッセージが表示されますが、データの更新は行われません。また、操作履歴も記録されません。

「チェックアウトを取り消しました。」

処理時間が長い場合のエラー表示について

iOS端末とAndroid端末では、以下のような処理に時間がかかる操作をしたときはエラーが発生する場合があります。

- ファイルサイズの大きい文書のダウンロード、またはアップロード
- PDF変換を伴うセキュアダウンロード

ダウンロードしたファイル名の文字化けについて

iOS端末とAndroid端末では、ファイル名に日本語を使用したファイルをダウンロードした場合、文字化けする可能性があります。

画面サイズが小さいスマートフォンでのタイトル表示について

iOS端末とAndroid端末の画面サイズが小さい場合、画面タイトルの一部がボタンに隠れて表示されることがあります。

ダイアログを閉じた場合の挙動について

Android端末のバージョンが4.0.0～4.0.3の場合、ダイアログを閉じるとキャビネット画面に遷移することがあります。

文書公開画面で入力チェック結果のメッセージを表示させた状態でカレンダーを表示した場合の挙動について

Android端末では、文書公開画面で入力チェック結果のメッセージを表示させた状態で有効期限のカレンダーを表示すると、ボタンをタップしても反応しなくなる場合があります。

パスワード入力ダイアログの表示について

Android端末では、パスワード入力ダイアログのパスワードを入力していない画面で、文字がずれて表示されることがあります。

画面の縦横を切り替えたときの表示について

Android端末では、画面の縦と横を切り替えると、画面に白い表示が一瞬残る場合があります。

iOS端末とAndroid端末では、以下の操作を実行した場合、キャビネット選択画面が表示されます。

- ブラウザの「更新」ボタンをタップした場合
- ブラウザのアドレスバーにキャビネット選択画面以外の画面のURLを入力して表示した場合（ただし、公開文書ダウンロードのURLを除く）

ブラウザの戻る/進むボタンをタップして画面遷移した場合の表示崩れについて

iOS端末とAndroid端末では、ブラウザの「戻る」または「進む」ボタンをタップして画面遷移した場合、画面レイアウトが崩れて表示されることがあります。その場合、「サイトマップ」→「Accel Documents」→「文書管理」をタップして、操作をやり直してください。

PC用画面を表示する場合の制限について

iOS端末とAndroid端末では、PC用の画面を利用する場合、画面レイアウトが崩れて表示されることがあります。また、一部操作できない機能があります。

Android端末における、タグ属性表示画面の表示乱れについて

Android端末では、タグ属性表示画面において画面の乱れが発生することがあります。画面をタップすることで、乱れを解消できる場合があります。

iOS端末における、ブラウザの戻る/進むボタンをタップして画面遷移した場合のアクティビティインジケータの表示について

iOS端末では、ブラウザの「戻る」または「進む」ボタンをタップして画面遷移した場合、アクティビティインジケータが読み込み中のままになることがあります。画面を更新することで、現象を解消できる場合があります。

ユーザ機能（スマートフォン）

文書のアップロード・チェックインについて

iOSやAndroidの一部の端末では、ブラウザから文書をアップロードできません。

文書のダウンロードについて

iOS端末では、文書をダウンロードし端末に保存できません。ブラウザ上での文書の表示のみ可能です。

文書の保管責任者の人数チェックについて

PC向け画面では、文書の保管責任者が0人、または6人以上の場合に確認画面が表示されますが、ス



コラム

タイムスタンプオプションの制限事項の詳細は、「Timestamp Option リリースノート」 - 「制限事項」 を参照してください。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=iad>）に

掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、
本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上